

〇〇高等学校 第〇学年 〇〇〇〇科 学習指導案(細案 記入例)

○ 学習指導要領上の該当単元における指導事項の文言を、原則、そのまま用いて記入してもよい。

指導日時：令和〇〇年〇月〇〇日(〇)第〇校時
 指導学級：第〇学年〇組(男子〇名,女子〇名)
 指導者：宮城県〇〇高等学校 教諭 〇〇〇

1 単元名(科目)

(出版社名(教科書名))

2 単元の目標

〇〇……………
 〇〇……………

○ 該当単元に対して、学習指導要領上の位置づけや単元のもつ教育的意義を記すとともに、その単元の学びを通して生徒に身に付けさせたい力などを記す。

3 指導に当たって

(1) 単元について

〇〇……………
 〇〇……………

(2) 生徒の実態

〇〇……………
 〇〇……………

(3) 指導について

〇〇……………
 〇〇……………

○ 対象となるクラスには、どのような生徒がいるのかを記入する。教科に関わるそれまでの学習履歴、授業中の雰囲気、その教科科目に対する関心や意欲の度合い、学力観などを客観的に記す。レディネステストの結果などがあるとなおよい。

○ 「生徒の実態」を踏まえ、「単元について」で述べた身に付けさせたい力を、生徒に身に付けさせるための有効な指導の方法を考え、記す。特に、主体的・対話的で深い学びにつながる指導形態や指導上の重点項目や留意点、工夫点を明確に記す。

4 単元の評価規準

態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
○ 「評価規準の作成、評価方法等工夫改善のための参考資料」を活用し、それぞれの観点においてつけたい力を、生徒の姿として具体的に書く。			〇〇……………〇〇。

5 単元の指導および評価計画(全〇〇時間)

時間	指導	評価規準	評価方法
〇〇	○ その時間を通して身に付けさせたい力を、単元の評価規準を踏まえ、具体的に記入する。その際、指導者の立場で記入するようにする。	主なねらい 〇〇〇〇……………〇〇〇〇	主な具体的評価規準(評価方法)
〇〇	○ その時間におけるねらいを達成するために必要で中心的な学習活動を、生徒の立場に立って、簡潔に記入する。	○ ~についてノートにまとめたり、発言したりする。	・ ~について、よく整理し、適切に表現している。(ノート、観察)
	込む。		○ 該当時間の主なねらいに対して、そのねらいを達成したであろう生徒の姿に置き換えて、具体的に記述する。 ○ 評価方法については、最も顕著に評価できる項目を後述の例を参照して記載する。
〇〇	〇〇(本時)	〇〇〇〇	・〇〇……………〇〇。(〇〇〇〇)

6 本時の指導

(1) 題材名 「○○○○」

○ 「5 単元の指導および評価計画」を参照して、該当時間の活動内容と、そのねらいを指導者の立場で記載する。なお、複数項目ある場合には、箇条書きとする。

(2) 本時の中心的な活動とねらい

- ① ○○.....○○。
- ② ○○.....○○。

(3) 本時の評価

評価の	○	○	○	○
○○	○	○	○	○
○○	○	○	○	○

○ 「本時の中心的な活動とねらい」との整合をとる。例)ねらいは「知識・理解」なのに、評価規準が「関心・意欲・態度」というずれがないように書く。

○ 評価規準(何をどのように評価するか)は、おおむね満足できる状況(B)について、具体的に書く。

○ Aとするキーワードを具体的に記入し、Cの状況(努力を要すると判断される状況)の生徒への手だてを具体的に書く。

(4) 学習指導上の工夫

- ・ ○○.....
- ・ ○○.....
- ・ ○○.....

[評価方法の例として]

- ・ 観察(行動、発言、発表等)
- ・ 机間巡視
- ・ ワークシート・学習カード
- ・ 観察記録, テスト,
- ・ 自己評価表・相互評価表
- ・ レポート・感想文 等

(5) 準備物

- ・ ○○.....
- ・ ○○.....
- ・ ○○.....

○ 主に本時のねらいを達成するために必要な、指導上の工夫を、具体的に記入するとともに、生徒に対して、主体的・対話的で深い学びを促すことができるような、指導上の工夫を具体的に記入する。

(6) 本時の展

段階	学習活動と主な発問 (●予想される生徒の反応)	形態	指導上の留意点	評価の観点 (評価方法)
導入	○ 導入・展開・まとめの学習過程に沿って生徒の活動を書く。 ○ 一人一人の生徒が何を目標に活動すればよいのかをつかめるように具体的に書く。 ○ 指示や発問に対する生徒の反応や解答を●を文頭にして書く。 [生徒の立場で書く] ※ 文末表現の例: ~について考える。 ~に気付く。 ~構想を練る。 ~表現をする。 ~を味わう。	A	○ 学習過程に沿って、支援の意図・重点、工夫、手だてなどについて留意すべきことを具体的に書く。 ・ 生徒一人一人の学習進度に応じた手だて ・ 生徒が主体的な学習を進める手だて ・ 資料提示の機会や方法 ・ 効果的な学習方法や学習形態の工夫	
展開	○ ○○。 ○ ○○。 ○ ○○。 ○ ○○。	A P G	○ 学習活動と教師の支援とのかかわりに対応させて書く。	
まとめ	6 本時の振り返り ○ ○○.....			[思・判・表] (振り返りシートへの記入)

○ 導入・展開・まとめの学習過程に沿って生徒の活動を書く。

○ 一人一人の生徒が何を目標に活動すればよいのかをつかめるように具体的に書く。

○ 指示や発問に対する生徒の反応や解答を●を文頭にして書く。

[生徒の立場で書く]

※ 文末表現の例: ~について考える。
~に気付く。 ~構想を練る。 ~表現をする。 ~を味わう。

○ 学習過程に沿って、支援の意図・重点、工夫、手だてなどについて留意すべきことを具体的に書く。

- ・ 生徒一人一人の学習進度に応じた手だて
- ・ 生徒が主体的な学習を進める手だて
- ・ 資料提示の機会や方法
- ・ 効果的な学習方法や学習形態の工夫

○ 学習活動と教師の支援とのかかわりに対応させて書く。

[指導者の立場で書く]

※ 文末表現の例: ~工夫する。 ~配慮する。 ~雰囲気をつくる。 ~意識を高める。 ~を評価する。 ~声掛けを行う。 ~に気付かせる。 ~助言する。

※形態:A(一斉), P(ペア), G(グループ)

(7) 学習プリント・ワークシート(別添)

[参考文献] 評価規準の作成, 評価方法の工夫改善のための参考資料(高等学校)
<平成24年3月> <http://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidousiryu.html>